



市民ネットワーク鶴ヶ島は
大野ひろ子を市議会に送っています

6月、9月議会報告 2012.10
発行 / 市民ネットワーク鶴ヶ島
鶴ヶ島市富士見2-12-15



<http://www.h-ohno.com/>

再生可能エネルギー の時代へ

未曾有の災害と原子力発電所の事故は、私たちに目に見えない放射能の怖さを教えてくれました。

これまで政府は原子力発電を安全なものであると言いつつ続けてきました。その「安全神話」が東京電力福島第一原子力発電所の事故の最も大きい要因であり、この事による放射能汚染は深刻な問題です。

政府は8月12日までに新たなエネルギー政策を決めるために国民からパブリックコメントを集めました。約8万9千件のうち過半数の約4万8千件が原発の安全性や原発事故の健康被害を不安視する声、次いで多いのは、自然エネルギーの開発を急ぐべきだとの意見だったということでした。

2030年の電力に占める原発割合への意見は9割もの人が「0%」を求めています。

エネルギーの問題は、使う側の効率、再生可能エネルギーの普及促進とともに、既存のエネルギー技術の見直し、東京電力等による地域独占体制の是正や、それらにかかわる法整備も含め、様々な角度から十分な議論が必要です。

国はエネルギー政策についてのビジョンを明確に示し且つ、説明責任を

果たし、早急にエネルギー政策の転換をすべきだと考えます。

◆再生可能エネルギーとは

「森が再生する」ように枯渇することのない利用する以上の速度で資源が補充されて自然に再生するという意味です。太陽光、風力、波力・潮流、流水・潮汐、地熱、バイオ燃料、バイオマス等。対して枯渇性エネルギーは、石油、天然ガス等の化石燃料や、ウラン等の埋蔵資源を利用するもの（原子力発電など）。

自然エネルギー、グリーン・パワー、新エネルギー、代替エネルギーが類義で使われます。

鶴ヶ島にメガソーラー

鶴ヶ島に約8・6haの敷地を有する養命酒製造株式会社は、工場跡地の内、4haに「太陽光発電所（メガソーラー）」を建設する計画を9月18日発表しました。一般家庭の400〜500世帯分の電力消費量に相当する発電所となります。運転開始は平成25年7月の予定、発電した電力は東京電力に売電とのことでした。

市は、鶴ヶ島の再生可能エネルギーのシンボルとして位置づけ、防災、環境教育への活用等連携に向けた協議を始めました。今年度中に予算案を議会に提出する予定です。